



いつもの時間

僕らの一日は、毎日変わらないことが多い。

決まったスケジュール

いつもの時間にご飯を食べて

いつもの時間に 服を着替える

そしていつものように いきます。

これって堅苦しく思う？

でも落ち着かないんだ。

時間が早く進んでしまったら、もし同じ時間じゃなかったら

まるで 時計の中に入り込んでしまうように 世界がぐるぐるまわる。そして僕はとてつもなく焦るんだ。

どうしてかって？ そんなの知らないよ。

見えない何かに 背中を押されて 急がなくなっちゃってなるんだもん。

僕は飛んでいる

ピョンピョン

その場で ピョンピョン

僕はいつも飛んでいる。

意味はないけど

なんか 飛んじゃう。

飛んでいるとき とても楽しい。

でもお願い。おかしなやつって目で僕を見ないで。

僕は楽しくて飛んでいるんだ。

落ち着かなくて飛んでいることもあるけど、飛んでいる僕は大きな鳥のように羽ばたいてる気分なんだ。

効果音

たまに 独り言の多い人って見かけるよね。

それって多分僕らなんだと思う。

効果音みたいな音を いつも口ずさんでる

ガガガガガ---

ドガァァン ヒューーン ビューーーン

小さな子供が戦隊ごっこをやるみたいに

効果音を発する。

僕はいつでも こんな言葉を発してる。それをみて僕を変な目で見える人はたくさんいる。

なんでそんなに発してるかって？

僕の頭の中は 昨日見たもの とか 印象に残ったものが

いきなり僕の頭を占領してしまう

いきなり思い出した戦隊ものの戦闘シーンを表現するには

効果音が一番いいじゃないか。

ずっと話してて疲れないの？ってお母さんにいわれたことがある

でも僕は言う

「大丈夫だよ。だってちゃんと息してる」

ちょっと困ったような顔をしていたお母さん。僕も困って二人で首をかしげる。

どうして首をかしげてるのか・・・見当もつかないんだもん。

同じ質問どうして繰り返えすの？

それはね すぐ忘れちゃうから

たったついさっき だったとしても 僕には関係ない

言ったことも忘れてまた 聞いちゃうの。

でも 怒らないで

わざとじゃないの。

なんで？ どうして？

そればかり。だって僕はこの世界が不思議でたまらない。

聞いてないのはどうして？

外に立っていると

いろんな音が聞こえるんだ。

車の音

風の音

鳥の声

人の歩く音

信号の音

人の話す声

沢山の音が聞こえて

世界は回ってる

世界はこんなに騒がしくて
どうしてみんな普通なんだろう

僕に誰かが話しかけてる

だけど、周りの音が騒がしくて聞こえない

そして みんな 言うんだ

「聞いてない」って

そんなことないよ

聞かないわけじゃない

聞こえてないんだ。

だから そんなときは

僕を見て。僕の目線で静かな場所で僕を呼んで

悲しまないで

僕は僕でしかない。

小さな音でも耳をふさぐ僕

いきなり 走り出す僕

奇声をあげる僕

乱暴になってしまう僕

パニックを起こす僕

でも、誰のせいでもない

ましてお母さんのせいだなんて はずがない

僕の存在が悲しいと思われていることが悲しい

僕は変わらないけど

僕は、悲しくないから

障害のある僕を可哀想だといわないで。

赤ちゃんは何も知らなくて

なにをしても

「しょうがない」って笑って許してくれるよね

僕は赤ちゃんではないけど

身体は大きいけど

機能は赤ちゃんと同じようなところがある

未熟なんだ。だから助けが要る

まったくもうって怒られると 悲しい

僕を・・僕と言う人物はこういうものなんだって認めて

そしたら 僕は もっと笑顔になる

家族へ

僕は僕の家族が大好きです。

お父さんもお母さんも大好き。

でもいつも 困らせてしまっている

どうして 僕をこんな身体で産んでしまったんだろうって

自分を責めてるお母さん。

僕は この身体で産まれたから

お母さんの子でいられたと 思う

僕がもし 普通の子だったら

それは僕じゃない

僕はお母さんの子がよかったから

これでよかったんだって思ってる

だから いつも 笑っていてください